

# 年頭の御挨拶

新年おめでとうございます。  
県民の皆様におかれましては、気持ちも新たに、新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、東日本大震災という未曾有の災害が我が国を襲い、多くの尊い人命が失われ、依然として数万人の被災者が不自由な生活を強いられています。

沖縄県内にも現在五百人余の被災者が避難されており、県としては東日本大震災支援協力会議を立ち上げ、全力を挙げて被災者の皆様の支援にあたっているとこ

ろです。  
また、防災対策につきましても本県の防災計画を見直し、安心・安全な県土の形成に全力を挙げてまいります。

さて、県内に目を向けますと、昨年十月に行われた「第五回世界のウチナーンチュ大会」では、世界各国から五千名余のウチナーンチュが沖縄に集結し、世代を超えて受け継がれてきたウチナーンチュの絆を確かめ合うとともに、新たな絆が生まれ、次世代を担う若者からウチナーネットワークの継承、拡充について提案が

本計画は、「沖縄二十一世紀ビジョン」で掲げた将来像の実現や固有課題の克服を目指すものと位置づけ、その内容を沖縄県が決定していくこととしております。

その目的は、「強くしなやかな経済の構築」と「沖縄らしい優しい社会の構築」を施策展開の基軸とし、「時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな『美ら島』おきなわ」の実現を図ることにあります。

また、県政の重要課題である米軍基地問題につきましても、日米両政府に対し過重な基地負担の軽減や、普天間飛行場の県外移設などを引き続き求めてまいります。

平成二十四年は、復帰四十周年の節目の年となります。復帰四十周年記念事業として、復帰四十周年記念式典、第六回太平洋・島サミット、第七十七回日本オープンゴルフ選手権競技、第三十二回全国豊かな海づくり大会などが開催されます。全国豊かな海づくり大会では、沖

あるなど、実り多い大会となりました。

また、十一月には沖縄科学技術大学院大学が創設されました。同大学院大学は、世界的にも優れた科学技術の研究・教育を行うことで、沖縄の自立的発展と世界の科学技術の向上に資することを目的としており、将来、沖縄県の産業振興にもつながっていくものと期待しております。

県では、沖縄の振興発展をどう図っていくのか、多くの県民の皆様から様々な意見をいただきながら、平成二十四年度から始まる新たな計画の策定を進めております。

縄の青い海と豊かなサンゴ礁を世界の宝として未来へ引き継いでいくことをアピールしてまいります。

県民の皆様におかれましては、県政運営に対し、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が県民皆様にとって良い年になりますよう祈念しまして、新年の御挨拶といたします。

平成二十四年一月一日

沖縄県知事 仲井眞弘多



## 目次

- 2 年頭の御挨拶
- 4 **特集1** 県政この一年
- 6 **特集2** 県職員の給与の状況
- 8 **特集3** 世界最高水準 沖縄科学技術大学院大学が創設!
- 10 飛び出せOKINAWA!! ヒト・モノ・企業のグッドジョブ 「沖縄県産品映画」
- 12 県のうごき1 おきなわ花と食のフェスティバル2012
- 13 県のうごき2 金型産業の振興による県内ものづくり産業の活性化
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつづくよ人の輪地域の和 「名護市」

### 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは  
県広報課ホームページで  
ご覧になれます。

美ら島沖縄 検索

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課  
TEL.098-866-2020

表紙について

次代へつなげたい沖縄

師匠から弟子へつなぐ「琉球ガラス」  
沖縄で初めてガラスが作られたのは明治中ごろで、1960年ごろになると輸出するようになり、そのころガラスには「ryukyu」の印を入れ始めており、これが「琉球ガラス」という名前が使われた最初といわれています。

(撮影協力：吹きガラス工房)